

光輝く未来へ

令和6年江田島市 二十歳を祝う会

Happy birthday 20th!

生涯学習課
☎ 0823-43-1902

令

令和4年4月に成人年齢が20歳から18歳に引き下げられましたが、本市では引き続き対象者を20歳とし、名称を「成人式」から「二十歳を祝う会」と変更。1月7日(日)に、名称を変更して2回目となる二十歳を祝う会が、わくわくセンター(能美町鹿川)で、開催されました。

会場には、105人の若者が集い、久々の再会の抱擁や記念撮影、恩師との交流など、懐かしさと喜びにあふれた光景が広がりました。式典では、二十歳を祝う会実行委員の木村真佳さんと山下遼河さんが司会を務め、福島知弥さんと中元勇太さんによる市民憲章の朗読に始まり、明岳市長が「今しかできないこと、今だからこそできることに積極果敢にチャレンジし、自身の力、可能性を信じて前向きに進み、様々な経験をしてください」と励ましのことばを述べました。

また、20歳を代表して実行委員の寺元萌恵さんと小道桜さんが、20歳のことばを発表しました。第2部の実行委員会企画では、中学校時代の恩師からのビデオレターがスクリーンに映し出され、当時の学校生活を思い出し、また、恩師の姿に顔をほころばせ、抽選会では、豪華賞品も用意され、会場は一層の盛り上がりを見せました。皆さんはこれから「光輝く未来へ」の旅路を歩んでいきます。

20歳のことば

自覚と責任を持ち、社会貢献できる大人になる



二十歳を祝う会実行委員
寺元 萌恵さん

市 長さまをはじめ多数の皆さまのご臨席の元にご覧いただきありがとうございます。また、たくさんの皆さまにお祝いと激励のお言葉をいただきましたことを心からお礼申し上げます。

二十歳という人生の節目を迎え、気持ちが高揚するとともに、緊張してきます。数年前の私たちの学校生活は新型コロナウイルスが猛威を振るい、厳しい生活を送る日々でした。その影響力は大きく、あらゆるものが変化を求められ、各々が苦しい思いをしながら困難を乗り越えてきました。人との交流が制限され寂しい思いも経験してきました。そんな日々を乗り越え今日には懐かしい友だちや先生方と顔を合わせ、会話ができることにとても喜びを感じています。

流の場が増え、人と人のつながりの重要性を痛感しています。今ある縁を大切にして生活をしていきたいと思えます。また、こうして二十歳を迎えることができたのは両親や先生方、地域の方など数えきれないほど多くの人々の支えがあったからです。私たちは今まで育ててくれた両親に感謝するとともに多くの恩師、諸先輩方に教えていただいたことを教訓とし社会人としての自覚と責任を持ち社会に貢献できる大人になっていけるよう精進いたします。現在の日本国内、世界の出来事にも目を向け嬉しい知らせと同様に悲しい話もあります。多くの混乱を招いておりありますが、それらの解決の担い手として真摯に取り組む、よりよい社会になるように、精一杯努力していくとともに自分の意志をしっかりと持って行動し、自分の信じる道を一步一步確実に歩んでいきます。

江田島市で繋がった縁を大切にするとともに様々なことに挑戦する



二十歳を祝う会実行委員
小道 桜さん

一 十歳を迎えた私たちのためにこのような式典を開いていただきます。温かい激励の言葉をいただきました。江田島市長 明岳周作様をはじめご来賓の方々、また、ご臨席賜りました方々に二十歳一同、心より御礼申し上げます。

私は去年二十歳となり、20代へと突入しました。少し前まで制服を着ていたのが嘘のようです。二十歳になって少しずつ大人になったなと感じることが増えました。街で見る制服を着ている学生はすべて年下という事実を痛感しました。そして同時にこれからこのようなことをもっと経験していくのだろうかというのを感じました。



今ここには学生として勉学に励んでいる人、就職をして仕事をしている人など様々な人がいます。今後はまた、各々生活してきますが、これまでの江田島市で繋がった縁を大切にしながら頑張っていきたいと感じます。皆さん、体調には気をつけながら生活してください。